

審査のカテゴリー		観点	評価	【メモ記入欄】 審査時のメモ(発表者にはフィードバックされません)	
目的・意義	研究の目的	・研究テーマの目的が明快であり、かつ自分なりの独創的な視点が含まれている。	/ 5		
	研究の背景・意義	・研究テーマの学問的・社会的意義や位置づけをよく説明できている。	/ 5		
方法・取り組み	方法	・適切な実験、観察、調査等が計画されており、方法に創意工夫が認められる。 ・(チーム研究の場合)チームメンバーの強み・個性が活かされ、分担あるいはシナジーによるプラスの効果が発揮できている。	/ 5		
	取り組み	・課題や困難な点に、粘り強く、柔軟かつ自立的に取り組んでいる。	/ 5		
結果と考察・成果	考察	・得られたデータや結果に基づき、論理的、多角的かつ深い考察ができている。	/ 5		
	成果	・新たな発見・発明や独自の研究方法の開発など、学問分野やテクノロジーあるいは社会への貢献が認められる。	/ 5		
発表	発表	・研究テーマや成果等のポイントがよく整理され、わかりやすい発表(ポスター)ができた。質問に対しても適切な対応ができた。	/ 5		【審査コメント記入欄】発表者にフィードバックされます。
	今後の発展性	・挑戦的な研究テーマに取り組んでいる。 ・研究の内容が独創的あるいは極めて高い水準に達している。 ・国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材として期待される。	/ 5		
【5段階評価の基準(絶対評価)】 5: 優れて達成している 4: やや優れて達成している 3: 概ね達成している 2: やや達成が不十分 1: 全く達成できていない			/ 40		